

○公務員を志望する名城大学の学生の皆さんが中部技術事務所を訪問され、中部インフラDXセンターや災害対策用機械の見学・体験を通じて、国土交通省が推進するインフラDXや防災・減災に関する取り組みへの理解を深めていただきました。

○見学・体験後には国土交通省の業務説明や採用に関する説明を行い、国土交通省の役割や業務内容、仕事のやりがいについて理解を深めていただきました。

○今回の見学・体験および業務説明が、学生の皆さんにとって国土交通省で働くことの魅力ややりがいを知る機会となり、今後の進路選択の参考になれば幸いです。

- 内 容 中部インフラDXセンター・災害対策用機械の見学および操作体験
- 日 時 令和8年8月28日(金) 13:00～16:00
- 場 所 中部技術事務所構内(名古屋市東区大幸南1-1-15)
- 参加者 名城大学生19名、教員1名

参加者の感想

- ・VR体験では、仮想空間内でダム内部に入ることができ、大変興味深く感じた。ダム完成後には、ぜひ実際にダム内部を見学してみたいと思った。
- ・岐阜県に住んでるが、新丸山ダム事業についてはこれまで知らなかった。今回その取り組みについて知ることができてよかった。
- ・排水ポンプ車の排水状況は非常に迫力があつた。
- ・バックホウの遠隔操縦体験は、想像していた以上にスムーズに動いて驚いた。操作は難しかったが、とても楽しかった。



【←対策本部車操作体験】



【照明車 操作体験↑→】
(上：照明車20m級)
(右：照明車10m級)



【←バックホウ 遠隔操作体験】



【↓VR体験】



【↑排水ポンプ車 見学】



【↑業務説明風景】



中部技術事務所
マスコットキャラクター
「エコチュー」